

幸福実現 THE HAPPINESS REALIZATION NEWS NEWS

清潔で、
勇断できる政治を。  **幸福実現党**

公式HP hr-party.jp 平成30年 7月20日

「平成30年7月豪雨」被害の爪痕大きく 各地で支援活動

西日本の各地で甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」の被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

幸福実現党の広島県本部、岡山県本部、愛媛県本部は現地の災害対策本部を設置しました。党員が被害状況の確認を行い、各地のボランティアセンターが開設され次第、ボランティアに参加しています。



天応地区の神社で。災害廃棄物が町中に溢れる。

《広島県本部》

7月15日から16日にかけて、広島県本部代表の國領豊太、県本部代表代行の水野善丈と党員有志で、呉市のボランティアに参加しました。

14日に避難解除となった天応地区に、15日に入ることができました。この地区では、家と家の間が狭く、重機も入れません。1階が浸水してしまっただお宅の片付けを手伝いました。猛暑が続く、高齢者の方は日中の作業はできません。

『昨日はどうすればよいのかと絶望していたけれど、助かった』とすごく喜んで頂けました。

福岡からもボランティアに参加されている方がいらつしやり、県民としても感謝ばかりです。これからも皆様と力を合わせて参ります。

《愛媛県本部》

愛媛県本部では、被災直後の10日に、浸水や断水の被害が大きい大洲市や上島町に、被害状況を確認。14日には党政調会長の江夏正敏、県統括支部長の森田浩二、党員有志が、西予市のボランティアに参加しました。床下や地下室から泥をかき出す作業でしたが、床板がなかなか外れず、とにかく暑い中、湿気と粉塵が大変でした。

現地は断水の中のため、被災者の皆様は家の中を洗うこともできず、泥やホコリがそのままになっている状態でした。現地の皆様が1日も早く、普通の生活に戻られますことを心より祈念し、今後も継続して支援を続けてまいります。



愛媛県大洲市で、浸水被害のあったお宅の慰問で、川沿いのこの家では、手で指している高さまで浸水し、家財が使えなくなりましたという。

《岡山県本部》

岡山県本部では14日から16日にかけて、県統括支部長の田部雄治と党員有志で、倉敷市のボランティアに参加しまし

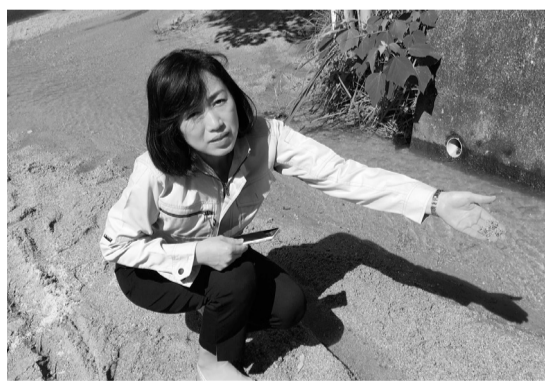


真備町の氾濫した川沿いの様子。

た。町の4分の1が水没し、51の方が亡くなられた真備町で(7月18日現在)家財の運び出しなどの作業を手伝いました。2階まで水没してしまい、ご親戚や知り合いの家や避難所で生活されている方も数多くいらつしやいます。家主の方に確認しながらですが、作業に入ったお宅では、ほとんどの家財を処分することになってしまいました。今回、真備町で浸水した地域は、倉敷市が2016年に作成したハザードマップの浸水予想地域とほとんど重なっています。しかも氾濫した河川では、今年の秋に治水工事が着工予定でした。治山・治水への予算は過去20年間で削減されていますが、公共事業で防げる被害があったらと思うと歯がゆい思いです。災害予防の事業には見直しが必要と実感しました。

防災大国を目指す

積量子党首は、7月8日から9日にかけて広島県に入り、被災者の慰問と被害状況の確認を行いました。「今回亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。被害の大きかった広島県は、土砂災害を起こしやすい『真砂土』という土壌が広



花崗岩が風化して細くなった「真砂土」。サラサラしていて水を含むと土砂崩れしやすい。

がっています。これまでも何度か、今回のような甚大な被害をもたらした土砂災害が起きており、被害のあつた地域に住む住民の方からは「帰宅するのが恐ろしい」などのお声を伺いました。幸福実現党としては今後、『命を守る防災への投資は、政治の最重要な仕事』という原点に戻り、防災インフラを充実させるために、様々な提言を行ってまいります」

平成30年7月豪雨災害 被災者支援募金を 受け付けています

今回の災害の被災地・被災者の支援のため、幸福実現党は「平成30年7月豪雨災害 被災者支援募金」の口座を設け、支援募金の受付を開始いたしました。

下記口座にお寄せいただきました募金は、豪雨災害の被災地にお送りします。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

三菱 UFJ 銀行 東京営業部 (店番：321)

普通口座：0084367

口座名義：幸福実現党 (コウフクジツゲントウ)

電話番号：03-6441-0754

受付期間：2018年10月31日まで



東京・白金門前後援会が品川駅で行った募金活動。

幸福実現党

地方議員だより

幸福実現党の地方議員は、7月で全国22人となりました。各地の議員の活動をお知らせします。

鳥取県・岩美町議選

ますい氏が当選

7月8日の鳥取県・岩美町議選で、幸福実現党公認候補のますいゆうこ氏が当選しました。ますい議員は岩美町出身。当選を受けて、「地元のために汗を流す機会を頂き、感謝しています。活気あふれる町を作るため、尽力したい」と話しています。



ますいゆうこ町議



長野県・駒ヶ根市 塩澤こういち市議

「牛乳パン」で町おこしを



塩澤こういち市議

長野県・駒ヶ根市の塩澤こういち市議は、6月の一般質問で、「牛乳パンでの町おこし」について質問・提案を行いました。駒ヶ根市の杉本幸治市長がこの質問に答え、「牛乳パン生みのまち」を宣言したことを、6月15日付長野日報が伝えています。

塩澤市議は「駒ヶ根市在住の中坪兼吉氏が県パン商工会組合で紹介したことがきっかけで長野県下に広まった。駒ヶ根市が発祥であることは市内でも知られていないが、町おこしに繋がるのでは」と質問。7月には中坪氏と市役所や商工会関係者、地元パン屋、塩澤市議らが参加したプロジェクト会議が行われ、今後のイベント開催やPR方法を検討しました。塩澤市議は、「地域の知られざる魅力を再発見し、ふるさとの歴史を知ることによって郷土愛を深めたい。牛乳パンをひとつのきっかけとして、雄大な自然と魅力ある駒ヶ根をPRしたい」と語ります。

地方議員総会を開催



東京・赤坂のユートピア活動推進館で7月15日、幸福実現党の地方議員が総会を開催しました。地方議員の団長として松澤力・鹿児島県薩摩川内市議が就任。今年4月以降に新しく議員団に加わった4名が紹介されました。

総会では各地での取り組みが共有され、議員団としての取り組みも検討されました。

「軍艦島」歴史を護る

長崎県本部が陳情書・署名を提出



幸福実現党長崎県本部が6月、長崎市議会宛に「世界遺産『軍艦島』の歴史的真実を護るための陳情」を提出しました。『軍艦島』の歴史に関し、『日本人が朝鮮人を強制労働させた』など、韓国政府等からの誹謗中傷があった場合、抗議等の適切な対応を取ることなどを陳情するものです。

6月19日には党県本部が市議会の総務委員会に参考人として呼ばれました。代表のふちわきひろみ氏は、「軍艦島で育った80代の男性から、軍艦島では強制労働などの事実が...



長崎市長宛に陳情書を提出したふちわきひろみ氏(左から3人目)。

島では強制労働などの事実はなく、日本人も韓国人と同じ条件で炭鉱の仕事をしていただけの「聞いた」と発言しました。

真実を伝える証言

長崎市の「軍艦島」は、2015年に「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録されました。しかし、韓国政府などが朝鮮半島の出身者の強制労働があったなどと主張。これらは、元島民の証言などで否定されています。

党長崎県本部は2017年9月にも「世界遺産『軍艦島』の尊厳を護ることを求める陳情」を行い、委員会に参考人として呼ばれ、3人が意見を述べています。今回の陳情は2年連続のもので、参考人招致も2回目となります。

署名も提出

6月26日にふちわき氏らは長崎市長宛にも、陳情書と、党長崎県本部が集めた「世界遺産『軍艦島』の尊厳を護るための署名」を提出しました。

党県本部は「昨年に比べて、韓国政府等の『軍艦島』の歴史的事実を捻じ曲げる行為は低調になっている」とする一方で、韓国政府や韓国反日団体らが「戦時強制徴用」など、捏造した歴史的事実を世界に発信していることを受け、今後長崎市に毅然とした態度を取ることを求めています。